

新型インフルエンザが流行

感染予防のためうがいや手洗いを習慣にしましょう



●身近にインフルエンザ様症状のある人がいるときは、その旨を医師に伝えましょう。

感染した場合

- 外出を控え、水分補給と十分な睡眠を心掛けて自宅で療養してください。
- 医師の指示に従い、処方された薬は最後まで飲みきりましょう。
- 会社や学校へインフルエンザに感染したことを連絡し、症状の始まる前日に会った人にも連絡して体調に注意するよう伝えましょう。

患者の人は

- 外出を控え、水分補給と十分な睡眠を心掛けて自宅で療養してください。
- 医師の指示に従い、処方された薬は最後まで飲みきりましょう。
- 会社や学校へインフルエンザに感染したことを連絡し、症状の始まる前日に会った人にも連絡して体調に注意するよう伝えましょう。

- 症状が回復し体調が良くなったとしても、感染力は残っているため、他の人に感染する可能性があります。個人差はありますが、少なくとも熱が下がってから2日目まで、または発熱やせきなど、症状が始まった翌日から7日目までできるだけ外出しないよう心掛けましょう。なお、熱が下がってから2日間を過ぎても、抗インフルエンザウイルス薬を投与されている間は、

自宅で療養しましょう。

患者と同居している人は

- 可能であれば患者と別の部屋で過ごすよう心掛け、患者と接するときはマスクを着用し、看護した後はこまめに手を洗いましょう。
- 持病がある人や妊娠している人が同居している場合は確実な感染予防を心掛け、念のためかかりつけ医に相談しておきましょう。
- 患者の症状が始まった翌日から7日目までは、検温などの健康観察を行いましょう。
- 自分自身に症状がなければ、会社や学校に行くことは差し支えありません。

会社や学校では

- 患者と接触のあった人は、接触後7日間程度は毎朝検温などの健康観察をしましょう。症状がなければ通常通りの生活をしてください。
- 職場内、学校内の特別な消毒は必要ありませんが、換気や清掃を心掛けてください。
- 集団感染が見られる場合は、市保健所に相談してください。

せきエチケットとは

- せき・くしゃみが出たら、ほかの人にうつさないためにマスクを着用しましょう。マスクを持っていない場合は、ティッシュペーパーなどで口と鼻を押さえ、ほかの人から顔を背けて1m以上離れましょう。
- 鼻汁・痰などを含んだティッシュペーパーはすぐにゴミ箱に捨てましょう。
- せきをしている人にマスクの着用をお願いしましょう。
- マスクの装着は説明書をよく読んで、正しく着用しましょう。



■下記に該当する人は感染することで重症化する場合がありますので、早期受診・早期治療を心掛けましょう。

- 基礎疾患がある人
- 慢性呼吸器疾患・慢性心疾患
- 糖尿病などの代謝性疾患
- 腎機能障害
- ステロイド内服による免疫機能不全など
- 妊婦、幼児、高齢の人

感染を防ぐためには 日常できる予防対策は

- 手洗い、うがいの励行。
- 症状が出た人のマスク着用や外出の自粛、人にせきやくしゃみをかけない「せきエチケット」の徹底。
- 事前に受診希望の医療機関または、市保健所に設置して

医療機関を受診するときの注意

- 必ず事前に電話をしてから受診しましょう。
- ほかの人が感染しないよう必ずマスクを着用しましょう。

現在流行している新型インフルエンザは、感染したほとんどの人が比較的軽症のまま数日で回復しています。しかし、持病がある人や妊娠している人、幼児、高齢者の人は重症化する場合があります。

感染を拡大させないためには、一人一人の感染防止対策の実施が大切です。

問い合わせは
市発熱電話相談センター ☎220-1151
ファクス223-8835(聴覚障害などで電話相談ができない場合)
午前9時～午後5時30分(土日曜も開設)



最新の情報はホームページの新型インフルエンザのページで確認できます

市の対応状況など

<http://www.city.maebashi.gunma.jp/ctg/22500006/22500006.html>

市内の発生状況

<http://www.city.maebashi.gunma.jp/kbn/22500016/22500016.html>

厚生労働省のホームページ

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou04/index.html>